

## 【ふるさと納税改正】・・・鈴木

今年は異常に暑い8月でしたが、いつの間にか秋の気配がやって来ていますね。ついこの間まで暑くてどうしようもなかった熱帯夜から、だんだん涼しくなり夜もぐっすり落ちて眠れるようになりますね。



今回は、ふるさと納税について考えたいと思います。

制度が始まって16年目を迎えたふるさと納税は、地方創成を掲げて都会に居ながらも自分の故郷やゆかりのある土地に寄付という形で還元できる人気の制度です。私も数年前に、那須町にふるさと納税をしてレジャー施設の入場券やお肉を頂いたことがあります。

ふるさと納税とは、自分の住まいがある自治体に納税する税金を、任意で選択した自治体に寄付することで、税金の還付・控除が受けられる仕組みですね。控除上限額の範囲内で寄付すると、2,000円を超える部分について税金が控除されます。控除上限額は、ふるさと納税をする方の年収（所得）や家族構成などに応じた各種控除の金額などによって異なります。

来月からルール見直しが行われ、実質値上げ又は返礼品の減量が明確化されてしまい、寄付する自治体が属する都道府県内で生産された返礼品か否かを厳しく判定するようになります。例えば熟成肉などはこれまで、他の都道府県や海外で生産された肉をその自治体が熟成・加工して返礼品にしたら「地場産品」と認められていました。しかし、この改正で純粋な「地場産品」だけが返礼品となるとのことです。

大人気の返礼品や自治体が、10月以降急に返礼品が出せなくなってしまう可能性があるというのです。1万円の寄付で1キロの有名なお肉となっていた自治体でも、10月以降はお肉が小さくなってしまいう可能性があります。

本来、ふるさと納税の理念は「地方創成」です。生まれ故郷はもちろん、お世話になった地域や、これから応援したい地域へ力になれる制度であることが支援になります。

今回のルール改訂を機に返礼品にとらわれず、地方創成、市町村の発展に協力したいものです。

## 【スピード社会】・・・小倉

ここ数年、時代の流れが特に早く感じます。安定というのは一般的な状態を示す表現に過ぎませんが、人生には「上り坂、下り坂、まさか」の三つの坂がありますように、良くも悪くも一寸先のことは誰にもわかりません。

そんな人生において安定した状態が永続することなどありえませんので、考え方を改めて「安定を求めるのではなく不安定を安定化させる力を持つ」変化の対応力が極めて大切に思います。

変化の必要性や変化すべき対象もわかりませんから、様々な知識を取り入れることが重要です。

政府でも言われている、リスキリング「新しいことを学び、新しいスキルを身につけ実践し、新しい業務や職に就くこと」で視野が広がり将来必要になる業務のスキルアップにつながります。

先の読めない時代だからこそ変化に対応できる必要性は大切です。

生きることが学ぶことだとすると、生きている限り学び続けることとなります。

新しいことを覚えたり今まで出来なかったことが出来るようになったり、知りたかったことがより深く知ったりする爽快感は、やはりいくつになっても嬉しいものです。

年々減ることの方が多いい気もしますが、好奇心を持ち知識を広げたら、ふと人生の足元を照らしてヒントをくれるに違いないと思いたいところでもあります。

足も痛いのですが、スポーツの秋ということもあり、今月は、しばらくやっていなかったスポーツを数年ぶりにやってみる予定です。

何かを始める時は、勢いも大切なので、痛いで終わりにせず、これも前向きにいきたいです。



## 【中秋の名月】・・・手塚

残暑はまだありますが車で田園地帯を通りますと稲穂が黄金色に輝き秋の気配を感じる様になりました。

暑い夏も終わり秋が来ると、どんどん空が高くなり雲が綺麗に見え空気が澄んでいきます。

そろそろ中秋の名月（お月見）です。2023年は9月29日になります。

中秋の名月は中国から伝わってきた歴史があります。

中国では中華三大節のひとつである中秋節として春節（中国の旧正月をお祝いする節）、清明節（日本のお盆のようなもので里帰りやお墓参りをする）と並ぶ大きいお祭りとなっています。

中秋節には家族や親しい友人を招き、月餅を食べ、月を見るという風習がありました。現在月餅はその時期の贈答品として定着しています。

日本ではお月見団子を作ったりススキを飾ったり秋の七草、ススキ（尾花）・クズ（葛花）・ナデシコ（瞿麦）・オミナエシ（姫部志）・フジバカマ（藤袴）とキキョウ（桔梗）・ハギ（萩）を飾ったり、お月見ならではの楽しみがあります。

アメリカでは農業暦のもととなったネイティブアメリカンが使っていたと言われている満月の名前をご紹介しますと9月はハーベストムーン Harvest Moon（収穫月）と、耳にしたことがあるかもしれません。

これは作物を収穫する時期、秋分後の満月のことをこう呼びます。夜間に収穫するとき、月明かりが助けてくれる9月の満月や、月の出が早いことも表現されています。

コーンムーン Corn Moon（トウモロコシ月）やバーレイムーン Barley Moon（大麦月）という名前もありますが、どちらも収穫月だからでしょうか。

9月中秋の名月をぜひお楽しみください。

